

ユニセフパークプロジェクト2004 サマーキャンプ 結果速報

3
日
目
裏
に
林
で

●日時 2004年8月24日(火)～27日(金) 3泊4日

●場所 『活動』：国営明石海峡公園 神戸地区（神戸市北区山田町藍那）
『宿泊』：生活協同組合コープこうべ研修施設「協同学苑」（三木市志染町青山）

●参加者

『子ども』

合計：33名

性別 男：15名 女：18名

年齢 小学校3年生～中学校3年生（小学生：23名 中学生：10名）

住所 兵庫：23名 大阪：6名 その他：4名（静岡・高知）

『ファシリテーター（ボランティア）』

合計：47名

性別 男：18名 女：29名 ※外国籍2名を含む

年齢 16歳～70歳（学生：34名 社会人・主婦他：13名）

住所 兵庫：23名 大阪：19名 その他：5名（滋賀・千葉・群馬）

主催：国土交通省近畿地方整備局国営明石海峡公園事務所

ユニセフパークプロジェクトファシリテーターグループ

協力：財団法人 日本ユニセフ協会 後援：兵庫県、神戸市 協賛：近畿コカ・コーラボトリング(株)

●活動内容

参加した子ども達が自然の中で自由に遊び回り、自分たちの遊び場についてみんなで考え、みんなで遊び場を創り出すプログラムを展開しました。キャンプ全体を通して、様々な人々(子ども同士・ファシリテーター等)との交流、自然とのふれあいなどを図った。今回のキャンプでは、「休憩場所」をテーマに、遊び場をつくりました。

『1日目』曇りのち晴れ

一日目は開会式の後、班で里山を探検しました。探検の途中に郵便屋さんから手渡された指令書をヒントに、自分たちの作る場所を探し、どのようなものにするか話し合いました。夜はキャンプファイヤーで盛り上がり、ボンファイヤーで明日からどんな風に作っていきたいか話し合いました。



里山にあいさつ

『2日目』晴れ

二日目は、地域通貨の「あい～な」をもらい、貯めた「あい～な」で資材をもらったり、道具を借りたりして自分たちの遊び場を作っていました。どうやって作ればいいかわからないときには、道具屋さんを手伝ってもらい、自分たちの理想の休憩場所に近づけていきました。夜はユニセフの方に来ていただき、世界の子どもの現状などについて知りました。



休憩場所づくり

『3日目』晴れ

三日目は、自分たちの休憩場所を完成させました。また、自分たちの作った休憩場所を他の班と協力してつなげていきました。お昼は、「あいな茶屋」の方々が里山で採れる食材を使っておいしいご飯を作ってくださいました。午後からは、他の班の遊び場を自由に回り、他の他の班のよかったところや遊んでみて楽しかったところなどを書き込み、遊び場ボードに貼りました。



共有の遊び場づくり

『4日目』晴れ

最終日の四日目は、閉会式で自分たちが作ってきた休憩場所についての発表をしました。発表後、みんなで遊び、お土産をもらった後、歌を歌いながらお別れをしました。



遊び場紹介

ユニセフパークプロジェクト2004 サマーキャンプ 結果速報

《参考資料》

■ サマーキャンプのプログラム (3泊4日)

8/24 (火)	(FA 準備作業)	13:30 開 会 式	14:00 里山にあいさつ ・仲良くなる ・里山を探検 ・遊びの家をつくる	16:30 移動	17:30 オリ エン テー ション	17:45 風呂 夕食	19:45 キャンプファイヤー 仲間・班 づくり	22:00 就寝
1 日目		国営明石海峡公園 (雨天：しあわせの村)			協同学苑			

8/25 (水)	6:30 起床	9:30 遊びの家・庭づくり	12:00 昼食	14:00 共有の遊び場 づくり	16:30 移動	19:30 ユニセフプログラム	21:00 ふりかえり
	朝食	班で協力して陣地を 広げる ・エコー導入(あいーな)	休憩	他の班の陣地とつな げる	17:30 風呂 夕食	・世界の子ども現状 ・子ども参画の意義 ・対峙する意見	22:00 就寝
2 日目	協同学苑	国営明石海峡公園 (雨天：協同学苑)			協同学苑		

8/26 (木)	6:30 起床	9:30 遊び場の完成	12:00 昼食	14:00 みんなで遊ぶ	16:30 移動	19:30 ふりかえり	22:00 就寝
	朝食	遊びの家・庭・共有地 (ユニセフパーク)の完成	休憩	他の班の遊び場を見てまわり、遊ぶ	17:30 風呂 夕食	翌日の遊び場紹介の準備	
3 日目	協同学苑	国営明石海峡公園（雨天：協同学苑）			協同学苑		

8/27 (金)	6:30 起床 朝食	10:00 閉会式 遊び場紹介・お別れの儀式 FA のスピーチ・記念撮影	13:00 解散 (しあわせの村) 13:30 解散 (三ノ宮)	(FA 撤収作業)				
4 日目	協同学苑	国営明石海峡公園 (雨天：しあわせの村)						

◎ 国営明石海峡公園神戸地区

国営明石海峡公園は、近年の余暇時間の増加に伴う、主として近畿地方の広域レクリエーション需要の増大に対応するため設置する大規模公園であり、併せて明石海峡大橋を中心とした明石海峡周辺地域の広域レクリエーションゾーンの形成に寄与するために整備を進めています。本公園は、「自然と人との共生、人と人との交流」を基本理念として、里山の丘陵地に立地する「神戸地区（233.9ha）」と海に面した「淡路地区（96.1ha）」の二つの地区でそれぞれの環境特性を活かした公園づくりが進められています。このうち神戸地区は、里山の環境を守りながら、大規模公園としての特性を活かした憩い、散策、遊びなどを提供する森林自然環境に恵まれた公園として、計画・調査・設計を行っているところです。

◎ ユニセフパークプロジェクト (UPP)

ユニセフパークプロジェクトの狙いの一つは、次世代をになう子どもたちが各国の子どもたちと自然の中で互いに協力し、遊び、生活することで、自らの発想と活動を自由に広げ、「自然や人とのふれあい」「異文化とのふれあいと国際交流」「年配者の持つ技術や知恵の継承と世代間交流」を活性化することにあります。ともに遊び、公園づくりという作業を通じて、世代、性別、国籍などを越えて体験を共有することにより、他者に対する理解を深め、思いやりの心を育てることを目指しています。また、交流の場を森林という自然環境の中に置くことにより、自然を肌で感じ取り、身近な生物や生態系に対する理解を深め、環境問題などに対する関心を喚起することも目指しています。さらには、子どもたちの自由な視点や発想による公園づくりという活動から、都市公園における新たな可能性、利用形態などについて検討しています。

◎ ファシリテーターグループ

子どもたちの活動プログラムやそのサポートはもちろん、キャンプ実施中の様々な企画、運営はファシリテーターと呼ばれるボランティアにより行われます。これらのファシリテーターはただのボランティアではなく、自主的な運営主体として組織され、今回のサマーキャンプでは主催としてその役割を担っています。キャンプ、ワークショップの実施にあたっては、その企画、運営に合わせ、ファシリテーターとしての資質を高めるため独自に講習会なども実施しています。グループの構成は主に 10 代 20 代の大学生などが中心となっており、現在、総勢 148 人が登録されています。そのうち男性 21 名、女性 30 名の計 51 名が中心的に活動しています。

◎ これまでの活動と今年度の予定

国営明石海峡公園では平成 12 年度よりユニセフパークプロジェクトに取り組んでおり、平成 13 年には日本国籍の子ども 40 名、外国籍の子ども 40 名の計 80 名の参加を得てプレキャンプ（1 泊 2 日）を試行的に実施し、同様に平成 14 年にも日本国籍の子ども 20 名、外国籍の子ども 20 名の計 40 名により 1 泊 2 日のキャンプを開催しました。平成 15 年には、これまでの試行的なイベントでの結果をふまえ、タイ、フィリピンから海外在住の子ども 10 名を招待し「国際ワークショップ」（5 泊 6 日のキャンプ）を実施しました。

今年度は、平成 17 年 3 月に阪神・淡路大震災 10 周年記念事業の一つ「防災世界子ども会議」とのタイアップにより世界各国の子どもたちを交えた国際ワークショップ（3 泊 4 日のキャンプ）を予定しており、今回のサマーキャンプはこの国際ワークショップのプレイベントとして実施されました。